

薬物乱用防止戦略加速化プランの概要

未然防止対策・再乱用対策を中心に 「戦略」を強化

■ 未然防止対策 ～教育・予防啓発の一層の充実・強化

◆ 学校教育等の充実

～薬物乱用防止教室の実施率向上、大学生等に対する啓発・指導の充実 等

◆ 予防啓発の強化

～職場その他多様な場における啓発・指導の実施 等

■ 再乱用対策 ～取組・離脱対策の強化

◆ 取組体制の強化

～関係府省庁による横断的な検討の場の設定、地域における関係機関の連携 等

◆ 制度等の検討

～刑の一部執行猶予制度の導入、刑事施設と更生保護官署における情報共有の在り方

◆ 処遇・支援等の充実

～薬物依存離脱指導の実施率向上(犯罪傾向が進んでいない者全員への原則実施等)、保護観察所における再乱用防止に関する指導の充実強化 等

◆ 離脱対策の推進

～依存症対策モデル事業の推進、民間リハビリ施設等の職員研修の実施 等

◆ 啓発・情報提供の推進

～薬物依存の理解を深める資料・教材の配布 等

■ 取締対策 ～取締りの徹底及び連携の強化

◆ 取締り・流通対策の徹底

～インターネット利用薬物事犯の取締り、違法情報の削除要請等の徹底、薬物密売組織のグローバル化への対応 等

◆ 取締機関・関係機関の連携強化

～薬物犯罪対策・捜査手法等に関する情報共有の推進 等

■ 水際対策 ～国際連携・協力の強化及び水際対策の徹底

◆ 国際連携・協力の強化

～治安当局間の国際協力の枠組み構築、国際機関との連携強化 等

◆ 水際対策の徹底

～地方空港・港湾等における水際取締体制の強化、監視カメラの拡充・情報収集強化等効果的な監視・取締りの強化、薬物事犯に関する外国の法規制や科刑状況等の広報 等